

本紙では、最近のアカデミック・サポートセンター(ASC)の活動状況などを報告します。第4号では2011年度の学部・学科等への移行結果の略報と、2012年度の第1学期開始時期の進路・修学相談や学習サポートの利用状況を報告します。

総合入試2年目を迎えて

昨年度から文系・理系の大きな枠で学生を受け入れる総合入試がスタートし、今年3月には学生の志望と成績にもとづいた学部・学科等への振り分けが行われました。計1119名の進級予定者のうち、第1次振り分けで890名の移行先が決定しました。この中には6名の他系移行者が含まれています。その後、第2次振り分けで203名、補充振り分けで19名の移行先が決定しました。移行先が決まらなかった学生は7名となりました。

ASCは、移行に際して学生が主体的に進路を決め、目的意識を持って勉学に励めるような支援を目指しています。ASCの支援体制として、アドバイザーとナビゲーターによる進路・修



学支援、インストラクターとチューターによる学習支援、アナリストによるデータ分析の3つの機能があります(上図参照)。今年度から専任スタッフ2名とアドバイザー1名が入れ替わり(裏面、メンバー表参照)、昨年度の実績を踏まえ、新体制で学生支援を行っています。

今年度は、総合教育部ガイダンスにおけるASCの紹介に始まり(左写真参照)、スタディ・スキルセミナーを開催しました。現在は、進路・修学相談や学習サポートを引き続き実施しています。



総合教育部ガイダンス



進路・修学相談が今年も大盛況

ASCでは、学部・学科選択や修学に関する個別相談を行っています。ナビゲーターを中心に、スタッフが直接学生の相談に対応するほか、必要に応じて学生とアドバイザー、各学部相談員への橋渡しを行っています。

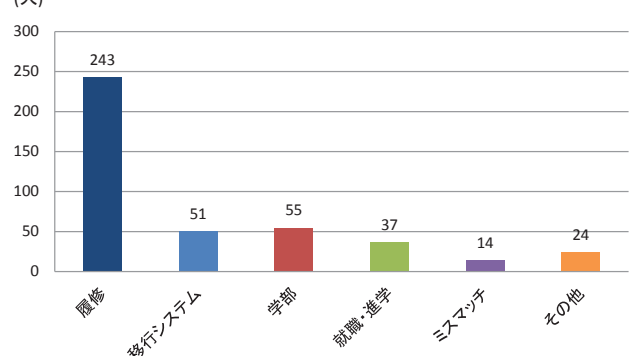
今年度は、授業開始後1週間でのべ約200人の利用があり、4月の相談者はのべ約270人でした。これは昨年度同時期をおよそ4割上回っています。相談者数は増加しましたが、昨年度の経験を生かした的確な対応ができたと考えています。

5月に入り、履修登録の終了とともに相談者数は減少しています。この傾向は昨年度と同様です。今後は学部・学科等移行ガイダンスや志望調査の時期に相談件数が増加すると予測しています。

相談内容は履修に関する質問が最も多く、次いで移行システムと学部関連が同程度となっています(右図参照)。履修や移行システム関連では「時間割をチェックしてほしい」「自由

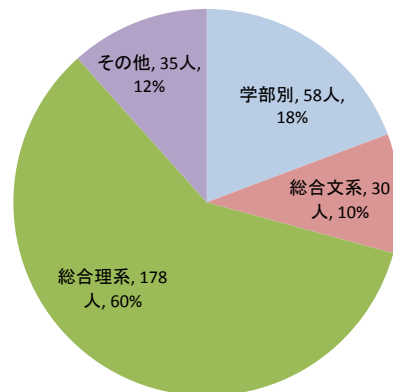
設計科目について聞きたい」「移行点とGPAの違い」、学部関連では「〇〇を学べる学部はどこか」「〇〇学部に移行する場合に履修しておいた方がよい科目は」といった相談が寄せられました。その他、教職や就職関連の相談も寄せられました。

相談内容別 2012(5月25日現在)



相談者を入試形態別に見ると、最も多いのが総合理系の学生で全体の約6割を占めます。これは昨年度と同じ割合です。一方、総合文系の学生の相談が昨年度は4%(16人)だったのに対し、今年度は10%(30人)となり増加しています(右図参照)。また、昨年度に比べ、2年生が多く相談に来ています。これは、ASCを利用した事のある学生が、進級後に継続して利用しているためです。今後もこのようなリピーターが増えていくと予想しています。ASCの実施したアンケートでは、また利用したいという学生が9割を超え、「とても分かりやすく親切に教えていただいていた嬉しかった」という感想が寄せられています。

入試形態別 2012(5月25日現在)



学習サポートとスキルセミナーが好評

ASCでは、スタッフと大学院生チューターが、大学での学習に関する質問・相談に応じています。今年度の利用者は、5月25日現在のべ450人を超え、昨年度のペースを上回っています。科目としては、物理や数学をはじめとする理数系科目についての質問が多く寄せられていますが、英語などの文系科目、情報学まで幅広く対応しています(右図参照)。また、実験レポートのまとめ方についての相談も寄せられています。今後は期末試験の時期に利用者数が増加すると予測されます。ASCが利用者に対して行ったアンケートでは「とても分かりやすく丁寧だった」という意見が多数寄せられました。

また、学習に役立つスタディ・スキルセミナーを4月23日から5月25日まで、次の3テーマで開催しました(下写真参照)。

- ・ ノート & 予習・復習
- ・ レポートの書き方
- ・ プレゼンテーションの方法

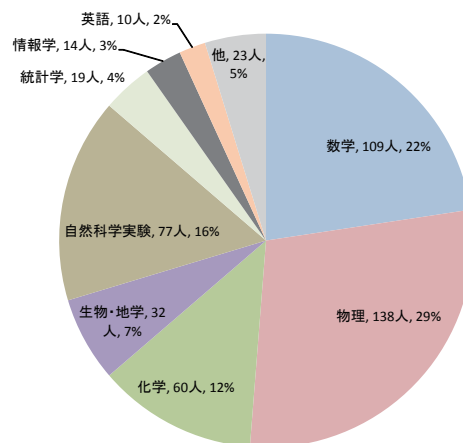


4月は各テーマを1回以上、6講時に行いました。5月は、各テーマを週替わりで5講時に開催しました。セミナーは自由参加形式で行い、参加人数はのべ約130人で、昨年度の約70人より大きく増加しています。これは昨年度から時間帯を変え、各テーマのセミナーの回数を増やしたためと思われる。参加した学生からは好評を得ました。



スタディ・スキルセミナー

科目別利用状況 2012(5月25日現在)

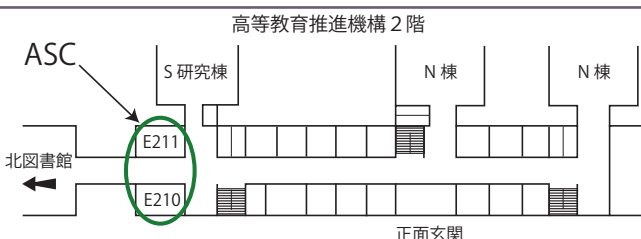


ASCメンバー表

センター長		
川端 潤	農学研究院 教授	食品機能化学
アカデミック・アドバイザー		
望月 恒子	文学研究科 教授	ロシア文学
板垣 正文*	工学研究院 教授	核融合学
大畑 昇	歯学研究科 特任教授	冠橋義歯補綴学
アカデミック・ナビゲーター		
多田 泰紘*	理学院修了	進化生物学
前田 展希	理学研究科修了	理論物理学
アカデミック・インストラクター		
日吉 大輔	文学研究科修了	哲学
斉藤 準	理学研究科修了	素粒子物理学
アカデミック・アナリスト		
大沼 明*	環境科学院修了	コロイド・界面化学
竹山 幸作	理学研究科修了	物性物理学

* 新規担当者

ASCに関する詳しい情報はwebページをご覧ください。



アカデミック・サポートセンター

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学 高等教育推進機構 2階
E210(相談) / E211(学習サポート)

T E L 011-706-7526

E-mail asc@high.hokudai.ac.jp

U R L http://asc.high.hokudai.ac.jp/

2012年5月29日発行

